

八女市杉町内（若杉会）の現状と課題

八女市シニアクラブ連合会杉町若杉会
会長 松崎 信次

1 杉町若杉会の概要

- * 役員 — 会長1名・副会長2名・会計1名・評議委員4名
- * 会員数 — 49名

2 高齢者の現状

昔の高齢者は、「今まで国を支え、発展させてくれた人達」と言われましたが、今では政府も、マスコミも「子育て支援・軍事力強化」等を毎日のように言われ、高齢者のことが言われるのは、「高齢者の交通事故・オレオレ詐欺・火事で逃げ遅れた高齢者」等が報じられている現状であります。

3 課題

これからの高齢者は高齢者だけの家庭が増え、身体の不調（不自由な身体・認知症）等になれば介護施設や病院へ行かなければならない人が多くなります。

国の借金 1,270 兆円の現在、医療費は2割負担、後期高齢者医療費等医療費や介護保険料の負担が増えるばかりです。

4 取り組み

「自分の身体は自分で守る」ための対応策が必要になって来ています。

「健康で仲間たちと仲良く、人生を楽しむ」ことで充実した生活を送る事ができることが必要です。

そこで、シニアクラブの必要性が求められます。

*会員勧誘について

入会に難色を示す方が多い中、若杉会の会員は33名でしたが、4・5年度の2か年で16名の新規入会者があり、合計49名になりました。

勧誘活動は、広報・回覧等で回覧をしても加入者はなかったので、昨年度は個別に知り合いを勧誘に回りました。

5 シニアクラブ「若杉会」の活動について

新規加入者も増え、事業の充実を図りました。

「日帰りバス旅行」、「カラオケ教室・健康体操を毎月1回」グラウンド・ゴルフ大会・ダーツ大会・ペタンク大会、作品展出品、演芸大会等への参加を呼びかけ、1人1人に案内書を配付して周知を行いました。

また、地域の行事「子供と一緒に豆まき・凧揚げ」等や、小学校の昔遊びで「こま回し」等の指導を行いました。

6 むすび

シニアクラブ数が減少する中、「人生100年時代」に向け、会員が「健康で自分の幸せを守るためにも、シニアクラブが必要である」ことを実感してもらえるよう努めたいと思います。